

CONTENTS

- 祝 世界かんがい施設遺産登録「見沼代用水」…………… 1
- 令和元年度 市町村長・水土里ネット理事長・市町村農政担当課長研修会 2
- 令和元年度 埼玉県複式簿記導入促進特別研修会…………… 3
- 令和元年度 埼玉県水土里情報協議会通常総会…………… 4
- 令和元年度 県営事業新規地区の紹介…………… 5
- 令和元年度 土地改良推進協議会通常総会…………… 5
- 令和元年度 埼玉県多面的機能支援推進会議研修会…………… 6
- 農業農村整備事業に関する意見交換会…………… 7
- 2019彩の国 食と農林業ドリームフェスタの御案内 8
- 第7回 フォトコンテスト写真展・研修会のお知らせ…………… 8
- 金利改定…………… 9
- 連合会日誌…………… 9
- 総会のお知らせ…………… 9

埼玉の土地改良

秋のアンサンブル（横瀬町）



祝

世界かんがい施設遺産登録 「見沼代用水」埼玉県では初の登録

9月4日(水)、国際かんがい排水委員会(ICID)国際執行理事会が開催され、埼玉県の「見沼代用水」が『世界かんがい施設遺産』として登録されることが決まった。登録は2014年から始まり、現在国内での登録施設数は39施設となっている。なお、県内での登録はこれが初となる。

～江戸の繁栄を支えた先進的土木技術の結集・我が国最大の農業用水の誕生～

見沼代用水は、利根川の中流域から取水し、県東部から南部の広大な農地に用水を供給する延長約80kmの水路である。

その歴史は古く、幕府の財政再建と食糧増産のため、八代将軍・徳川吉宗は新田開発を奨励した。それまで比較的狭い地形を有効利用した「溜井」を水源としていたが、この地域の灌漑面積は限界に達していた。吉宗に招聘された「紀州流」の優れた土木技術者井澤弥惣兵衛為永は、それまで約5,000haの水源地であった見沼溜井を廃止し、その敷地を干拓して約1,200haの新田とし、代わりの水源確保のため、約60km離れた利根川から引水する見沼代用水(見沼に「代わる」用水)を築造し、新田開発と既存田を合わせて約15,000haの水田へ安定した用水を供給した。



見沼代用水元坎鳥瞰図

工事は先進的な「紀州流」技術を結集し、1728年春にわずか6ヶ月で完成した。約60kmもの長大水路を自然勾配で導水するために「水盛器」を用いた精度の高い水準測量が行われ、工事は沿線の村単位に分割して一斉に工事を進める「村請け」により行われた。重要構造物である「元坎」(取水口及び樋管)、流量を制御する「八間堰・十六間堰」、河川横断工の「伏越」(逆サイホン)や「掛渡井」(水路橋)等は当時の最先端の技術で設計・施工され、これまでに例を見ない規模の木造構造物であった。また、パナマ運河の約180年も前に築造された開門式運河「通船堀」は、舟運による広域的物流システムを成立させ、江戸の繁栄を支えた。

見沼代用水は築造から約300年が経過し、コンクリート水路へと姿を変えたが、現在も開削当時と同じ路線で埼玉県東部の大地を潤しており、2006年に農林水産省の疏水百選に登録された。「通船堀」についてもその歴史的・文化的価値が高いことから1982年に国指定史跡として登録されている。

見沼代用水(令和元年10月1日現在)

- 受益地域 埼玉県行田市、羽生市、加須市、鴻巣市、久喜市、桶川市、上尾市、蓮田市、白岡市、春日部市、さいたま市、越谷市、川口市、草加市、戸田市、北足立郡伊奈町、南埼玉郡宮代町
- 供用開始年 1728年
- 施設管理者 独立行政法人 水資源機構
見沼代用水土地改良区
- 問い合わせ先 見沼代用水土地改良区 久喜市菖蒲町菖蒲65番地
TEL 0480-85-9100



開削時の原風景が残る見沼代用水原形保全区間



再整備された見沼通船堀で毎年行われる実演

令和元年度 市町村長・水土里ネット理事長・市町村農政担当課長研修会

去る9月26日(木)、鴻巣市の鴻巣市文化センター(クレアこうのす)「小ホール」において、市町村長・水土里ネット理事長・市町村農政担当課長を対象にした標記研修会が、155人という多数の参加のもと開催された。

はじめに水土里ネットさいたまの三ツ林裕己会長と、開催市である鴻巣市原口和久市長から挨拶をいただいた後、次の項目について研修が行われた。

1 令和2年度 農業農村整備事業関係予算 概算要求の概要について

講師：農林水産省関東農政局農村振興部設計課 課長 東 崇史 氏

2 土地改良区検査指摘事項について

講師：埼玉県農林部農村整備課 主査 佐藤 正樹 氏

3 農山漁村の現状と課題について

講師：参議院議員、全国水土里ネット会長会議 顧問 宮崎 雅夫 氏



会場の様子



講師：関東農政局設計課長 東 崇史 氏



講師：埼玉県農村整備課 主査 佐藤 正樹 氏



講師：参議院議員、全国水土里ネット会長会議顧問
宮崎 雅夫 氏

令和元年度 埼玉県複式簿記導入促進特別研修会

去る8月29日(木)、全国水土里ネット主催の埼玉県複式簿記導入促進特別研修会が、さいたま市の埼玉県県民健康センターにおいて開催され、会計業務に携わる県内の改良区の役職員等121人が受講した。

本研修会は、改正土地改良法の施行により、土地改良区は貸借対照表の作成と公表が義務付けられたことから複式簿記会計への円滑な移行を図るため、複式簿記の基礎、実務の知識習得を目的として開催された。

はじめに水土里ネットさいたまの大図早孝常務理事から開会の挨拶があった後、下記講師による研修に入った。受講者は複式簿記の基礎知識から勘定科目、貸借対照表の作成等、多岐にわたった内容を受講し、大変充実した研修となった。

講 師

- 農林水産省関東農政局土地改良管理課 課長 飯田 博隆 氏
- 全国土地改良事業団体連合会 参与 田村 栄二 氏

研 修

- 1 土地改良区複式簿記の基礎知識
- 2 勘定科目、仕訳の基礎知識
- 3 新たな土地改良区会計基準について
- 4 土地改良施設の資産評価マニュアルの紹介と減価償却の実務
- 5 土地改良区会計基準に基づく会計記帳実務
- 6 土地改良区特有の勘定科目及び仕訳について
- 7 開始貸借対照表の作成方法について



研修会の様子

令和元年度 埼玉県水土里情報協議会通常総会

去る7月19日（金）、埼玉県土地改良事業団体連合会大会議室において、県、市町村、農業関係団体の会員19名が出席し、令和元年度埼玉県水土里情報協議会通常総会が開催された。

開会にあたり大図会長（埼玉県土地改良事業団体連合会、大図早孝常務理事）から「日頃より、水土里情報の運用・推進にご協力をいただきお礼申し上げます。地図情報と農地情報を合わせて活用することにより、情報の蓄積、集計、解析、視覚的に提示できるツールとして、人・農地プランにおける農地利用集積計画図の作成、ほ場整備事業の地区設定、土地改良施設の管理など様々な活用ができるようになった。特に、全国的に農地中間管理事業の導入を進めるにあたり、水土里情報システムの役割は、ますます大きくなってきている。」と挨拶があった。

その後、大図会長が議長に就任し議事に入り、全議案が原案のとおり可決承認された。

なお、当日の提出議案は次のとおり

提出議案

- 議案第1号 平成30年度事業報告について
- 議案第2号 平成30年度収支決算について
- 議案第3号 令和元年度事業計画（案）について
- 議案第4号 令和元年度収支予算（案）について



議事終了後、事務局から平成30年度の利活用団体数、埼玉県水土里情報システムの状況説明のあとに水土里情報システムの運用と更新について今後の予定が伝えられた。引き続き、会員に対する操作説明会を開催し、水土里情報システムの有効利用について協力をお願いし、閉会となった。

関係市町村の皆様には、地図情報整備におけるデータ提供にご協力いただき、ありがとうございます。今後も埼玉県水土里情報システム利用の円滑な実施を図るため、データ更新についてご協力と、農地情報の積極的な活用をお願い申し上げます。

※ 水土里情報システムの利用申込み、問合せについては、下記をお願いします。

埼玉県水土里情報協議会 事務局担当：矢崎

TEL 048-530-7360 <http://www.saidoren.or.jp>

令和元年度県営事業新規地区の紹介

埼玉県農林部農村整備課

令和元年度も、数多くの地区が採択に至りました。
各地区の採択に当たり、関係土地改良区及び市町村担当者の方々の御協力に心から感謝申し上げます。
地域に即したきめ細やかな整備を推進していきますので、今後とも皆様の御協力をお願い申し上げます。

令和元年度新規着工予定地区一覧

番号	事業名	地区名	関係市町村	受益面積	総事業費*	主要工事計画
1	ほ場整備事業 (経営体育成型)	下増田	熊谷市	21.4ha	334,000千円	区画整理 21.4ha
2	ほ場整備事業 (埼玉型)	久下戸	川越市	37.3ha	296,000千円	区画整理 37.3ha
3	ほ場整備事業 (経営体育成型(中山間))	中太田 小柱	秩父市	17.4ha	164,000千円	区画整理4.4ha 農業用排水施設L=920m 暗渠排水11.7ha
4	農道整備事業	北武蔵	深谷市	3,708ha	631,800千円	橋梁補修5橋
5	農地防災事業 (ため池等)	芳沼	深谷市	41.0ha	124,000千円	堤体工1箇所
6	農地防災事業 (土地改良施設耐震対策事業)	古利根堰	春日部市、越谷市、 吉川市、草加市、 八潮市、三郷市、松伏町	1,761.4ha	3,022,800千円	堰耐震改修 1箇所

※総事業費は工事雑費を含む

令和元年度 土地改良推進協議会通常総会

令和元年度の各土地改良推進協議会通常総会が開催された。各協議会とも、事業報告及び事業計画等の各議案は慎重に審議され、いずれも原案のとおり可決、承認された。
開催日程は下記のとおり。

推進協議会名	開催日	開催場所
さいたま土地改良推進協議会(会長 正能 輝夫)	7月11日(木)	埼玉会館(さいたま市)
川越土地改良推進協議会(会長 川合 善明)	7月23日(火)	川越市農業ふれあいセンター(川越市)
東松山土地改良推進協議会(会長 森田 光一)	5月20日(月)	東松山市民文化センター(東松山市)
秩父土地改良推進協議会(会長 久喜 邦康)	7月2日(火)	秩父歴史伝承館(秩父市)
本庄土地改良推進協議会(会長 原田 信次)	7月17日(水)	本庄地方庁舎(本庄市)
大里土地改良推進協議会(会長 富岡 清)	7月4日(木)	熊谷文化創造館さくらめいと(熊谷市)
加須土地改良推進協議会(会長 大橋 良一)	7月30日(火)	加須農林振興センター(加須市)
春日部土地改良推進協議会(会長 石川 良三)	7月31日(水)	春日部農林振興センター(春日部市)

令和元年度 埼玉県多面的機能支援推進会議研修会

去る8月30日(金)鴻巣市文化センター（クレアこうのす）大ホールにおいて、主に活動組織を対象に、26市町村、168組織、439名の参加を得て開催された。

はじめに埼玉県多面的機能支援推進会議の副会長である水土里ネットさいたまの大図早孝常務理事から挨拶があった後、次の事項について研修が行われた。

第一部『多面的機能支払の現状と今後の展開方向』

講師：農林水産省 関東農政局 農村振興部 農地整備課 多面的機能支払推進室
保全業務係長 千葉 正文 氏

内容：埼玉県における多面的事業の現状と課題、制度改正のポイント等を解説

第二部『ふるさとの農地・水・環境を未来へ～広域化による組織強化・効率的な活動～』

講師：一般社団法人農業振興整備ネットワークうえだ 事務局 下村 亮 氏
上田市役所 農林部 土地改良課 主任 丸山 義正 氏

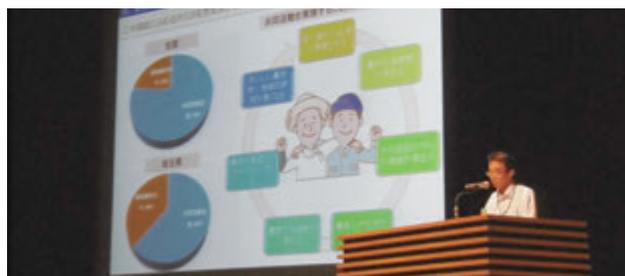
内容：長野県上田市の広域協定「上田水土里会」における、広域化成功のポイントと効果を紹介

第三部『女性のパワーで活動復活!!』

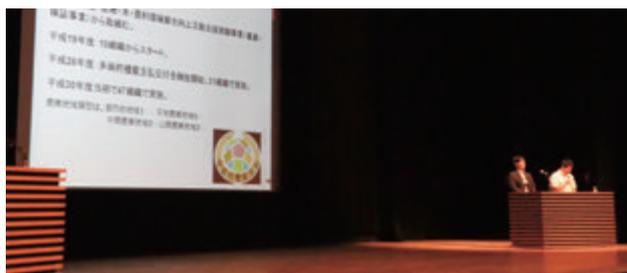
講師：申内環境保全会（栃木県宇都宮市） 事務局長 相良 律子 氏

内容：女性グループを中心として活動を再開した組織の様々な取り組みを紹介

埼玉県の多面的事業の現状確認に始まり、他県の事例として組織の広域化や女性の活動参加をテーマに取り上げた。これらのテーマは埼玉県の多面的事業が抱える課題の一つでもあり、今回の研修はその解決に向けた一歩となった。今後も研修会等を通して先進事例や情報をお伝えしていく予定である。



講師：関東農政局農地整備課 千葉 正文氏



講師：(一社) 農業振興整備ネットワークうえだ
下村 亮氏、丸山 義正氏



講師：申内環境保全会 事務局長 相良 律子氏

関東一都九県土連協議会 農業農村整備事業推進に関する意見交換会

去る10月1日、さいたま新都心合同庁舎2号館防災対策室において、農林水産省関東農政局主催の「農業農村整備事業推進に関する意見交換会」が開催された。本会議には、一都九県土地改良事業団体連合会協議会の各県土連専務・常務理事、事務局長と、関東農政局からは田中龍太局次長をはじめ、進藤惣治農村振興部長、設計課長、事業調整室長など12名、またオブザーバーとして、全国土地改良事業団体連合会の小林祐一専務理事が加わり総勢34人で始まった。本会議は、農業農村整備事業の推進にあたり、各県土連が抱える課題や要望等を伝えるための会議であり、本協議会からは令和2年度予算確保や農業集落排水施設の更新支援など予定していた下記9項目と、当日に追加した「ため池の管理、保全に関する法律」に関連した支援を提案し、関東農政局との活発な意見交換を行った。

なお意見交換会に先立ち行われた、一都九県土地改良事業団体連合会協議会主催の「第2回事務責任者会議」では、11月18日に行う秋季総会と農林水産省、財務省、国会議員への要請・要望・提案活動の内容などについて議論した。

意見交換会の内容

1. 農業農村整備事業の予算確保等について
2. 改正土地改良法に伴う土地改良区の支援について
3. 農業集落排水施設の更新支援について
4. 多面的機能支払交付金制度について
5. 土地改良施設維持管理適正化事業の予算拡大について
6. 中山間地域における事業の支援について
7. 水土里情報システムの有効活用について
8. 安定した土地改良区運営基盤の確立について
9. 若年層農業土木技術者の技術力向上について



意見交換会

2019 彩の国 食と農林業ドリームフェスタの御案内

埼玉県農林部農村整備課

来る11月16日(土)、17日(日)に「2019 彩の国 食と農林業ドリームフェスタ」が開催されます。これは、都市と農村の交流を促し、埼玉県の農林水産業の一層の振興を図るために開催されるイベントです。開催日時や会場は以下のとおりです。

農村整備課もブースを開設し、ため池を含む農業水利施設を紹介するパネル展示や、グッズの配布などを行います。皆様のご来場をお待ちしています。

開催日時 令和元年11月16日(土)、17日(日)
10:00~15:00

会場 草加市 まつばら綾瀬川公園

- 主な催し物**
- 埼玉県農林水産業の紹介
 - 農産物の即売
 - 都市と農山村の交流活動
 - 地域芸能の披露等のアトラクションなど



昨年開催された「2018 彩の国 食と農林業ドリームフェスタ」の様子

お知らせ

◆第7回 「彩の国 農業・農村景観フォトコンテスト」写真展

「次世代に遺したい埼玉の水土里」をテーマにした「第7回 彩の国 農業・農村景観フォトコンテスト」写真展を開催します。

受賞作品を含む応募作品すべてを展示しますので、ぜひご来場ください。

とき 12月20日(金)~12月23日(月)

時間 午前10時~午後6時

場所 八木橋百貨店8階「オープンギャラリー熊谷」
〒360-8502 埼玉県熊谷市仲町74
TEL 048-523-1111



平成29年度開催
八木橋オープンギャラリー熊谷

◆土地改良区理事、監事、職員並びに市町村担当職員等研修会

とき 令和2年2月26日(水)

時間 午後1時~

場所 鴻巣市文化センター(クレアこうのす)

お問合せ先 水土里ネットさいたま 地域支援課 TEL 048-530-7352

農業基盤整備資金の金利改定について

10月21日付けの株式会社日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の金利改定について、下記のとおりお知らせします。
(単位:%)

区 分	改 訂 前					改 訂 後				
	融資期間にかかわらず	融資期間別(一例)				融資期間にかかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年		5年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	0.17	—	—	—	—	0.21	—	—	—	—
団体営補助残	0.02	—	—	—	—	0.06	—	—	—	—
非補助一般	0.02	—	—	—	—	0.06	—	—	—	—
非補助利子軽減	0.02	—	—	—	—	0.06	—	—	—	—
災害復旧	—	0.02	0.02	0.02	0.02	—	0.06	0.06	0.06	0.06

連合会日誌

開催日	会議・行事	開催地
8月	28~29日 関東農地集団化推進協議会研究会	東京都
	29日 埼玉県複式簿記導入促進特別研修会	さいたま市
9月	10日 都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東京都
	12~13日 関東一都九県第1回事務局長等会議	秩父市
10月	1日 関東一都九県第2回事務責任者会議	さいたま市

総会のお知らせ

と き 令和2年3月23日(月)

時 間 午前10時~

場 所 埼玉県県民健康センター



水土里ネットさいたま
埼玉県土地改良事業団体連合会

〒360-0874 熊谷市籠原南二丁目83番地
TEL 048(530)7340 FAX 048(530)7370

<http://www.saidoren.or.jp/>

